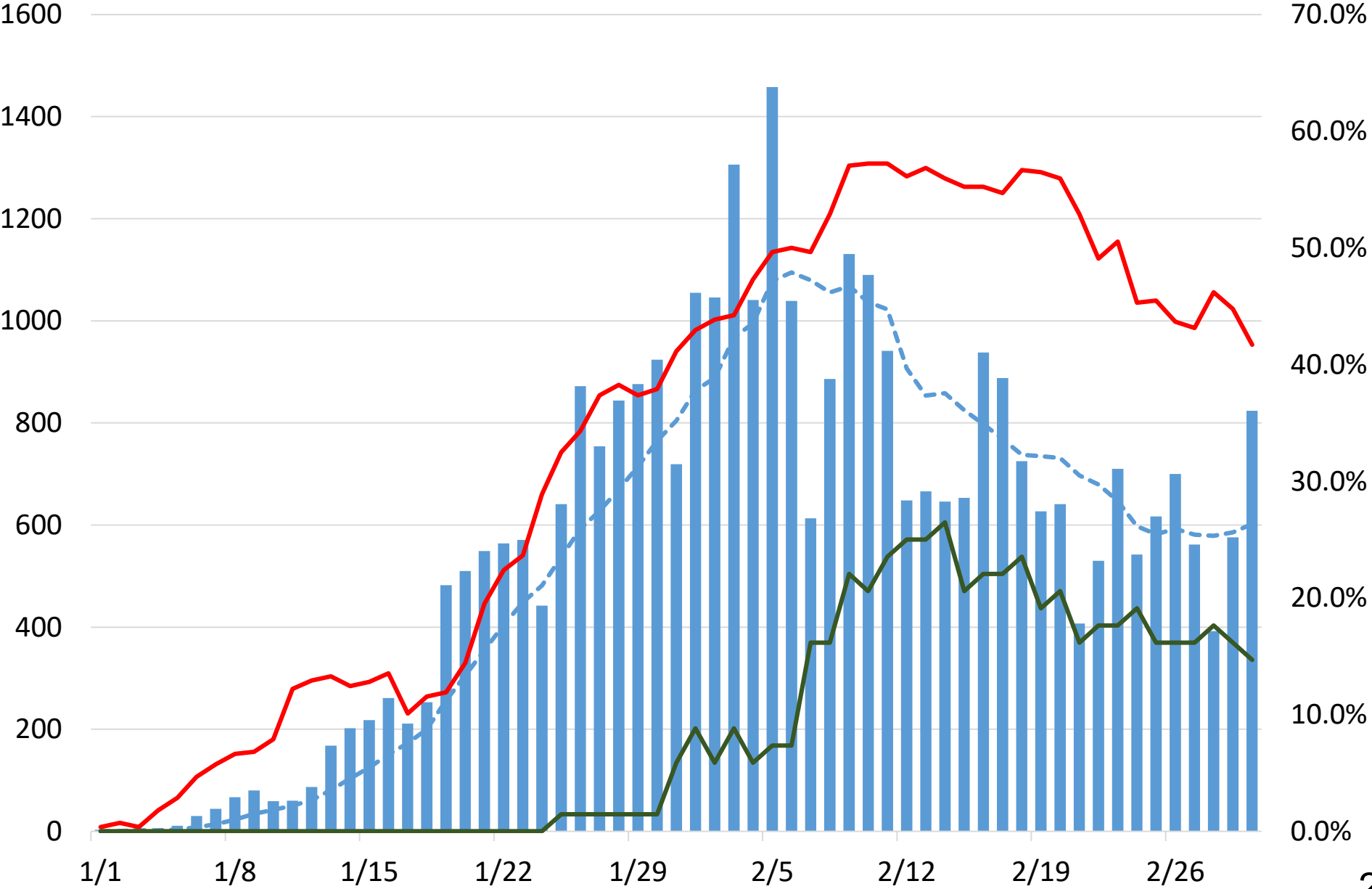


岡山県の感染とコロナ関連死の状況について

岡山県の新規陽性者数と病床使用率の推移

(新規陽性者数)

(病床使用率)



岡山県のコロナ関連死について

<目的>

- 県民の命を守るために、より重点的に、行政が介入すべきポイントを明らかにする資料の一つとして、これまでも、県内におけるコロナ関連死の分析を行ってきた。
- 今般、第6波におけるオミクロン株の特性に対応した、県内の医療提供体制、保健所支援体制構築のため、コロナ関連死について、医療・介護関係者、県民に広く周知することにより、必要な感染防止対策や治療薬へのアクセスの理解、ワクチン接種の推進に資することを目的とし、集計したものである。
- なお、行政施策を検討する際には、コロナ関連死のみならず、重症者の状況なども含め、総合的に俯瞰することが重要である。

< 年齢構成・死因 >

※合計欄の分母は、期間中の新規陽性者数（公表日ベース）


- 第6波では、これまでと比べて、年齢分布に大きな違いはない。
- 医師の判断により、コロナに関連した死亡かそれ以外かを分類しているが、第4波に比べ、コロナに関連した死亡以外の割合が増えている。

年齢区分	第4波 (2021年4～6月)		第5波 (2021年8・9月)		第6波 (2022年1・2月)	
	コロナに関連した死亡	コロナに関連した死亡以外	コロナに関連した死亡	コロナに関連した死亡以外	コロナに関連した死亡	コロナに関連した死亡以外
50代	2			1	2	
60代	5	1				1
70代	21			2	4	6
80代	43		3		21	9
90代以上	10		2		18	5
小計	90 (98.9%)	1 (1.1%)	5 (62.5%)	3 (37.5%)	45 (68.2%)	21 (31.8%)
合計	91 / 4, 897 死亡率 1.86%		8 / 6, 882 死亡率 0.12%		66 / 33, 010 死亡率 0.20%	

<コロナ罹患前の状況>

- 罹患前から医療機関入院中や、高齢者施設に入所中の方の死亡が多い。
- 第6波の「上記以外・不明」は、基礎疾患で通院中/在宅治療中の方が大宗。

	第4波 (2021年4～6月)	第5波 (2021年8・9月)	第6波 (2022年1・2月)
医療機関入院中	22	2	39
高齢者施設等入所中	15	2	13
小計	37 (40.7%)	4 (50.0%)	52 (78.8%)
上記以外・不明	54	4	14
合計	91	8	66

- 
- 第6波の医療ひっ迫時には、医療機関のみならず、感染が確認された高齢者施設等で中和抗体薬及び経口薬の投与を実施。コロナの重症化よりも、コロナ罹患により基礎疾患が悪化して亡くなった割合が増加したため、基礎疾患を持つ方へのアプローチ（早期の医療へのアクセスを含む）が重要。
 - 高齢者施設等での感染確認時には、早期に、県クラスターチームが介入し、ゾーニング、入院者の特定、必要に応じて現地医療の提供が必要。

岡山県の当面の対策

- 岡山県では、まん延防止等重点措置後の3/7～3/31を「オミクロン株リバウンド防止特別対策期間」とし、感染拡大を抑える対策をとることとする。特に、下記の場面について重点的に取り組む。

< 高齢者施設等 >

- 1) ワクチン追加接種の推進 → 高齢者接種率 68% (3/7 現在)
- 2) 感染防止対策と感染確認時の受療体制の確認
→ 繰り返し研修会の実施
- 3) 抗原定性キットの配布
→ 感染確認時には県クラスターチームを速やかに派遣

< 学校等 >

- 1) 部活動の原則中止
- 2) 感染者が確認された場合、学級閉鎖を検討

< 飲食の場 >

- 1) 基本的感染防止対策の普及、4人以下の飲食を要請